

関西学院大学国際学部 機関報告

(2018年12月現在)

安達万里江 (関西学院大学)

阪上彩子 (関西学院大学)

1. 学部概要

学部名称	国際学部	学科名称	国際学科
入学定員	300人	取得学位	学士(国際学)
設置年度	2010(平成22)年度	設置キャンパス	西宮上ヶ原キャンパス

2. 住所、電話、FAX、URL

住所：〒662-0891 ひょうごけんにしのみやしうえが はらいちばんちょう 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

電話：+81-798-54-6072

FAX：+81-798-54-6082

URL：(日本語) https://www.kwansei.ac.jp/s_is/

(English) https://global.kwansei.ac.jp/academics/academics_m_000731.html

3. 国際学部の設立年月と教育について

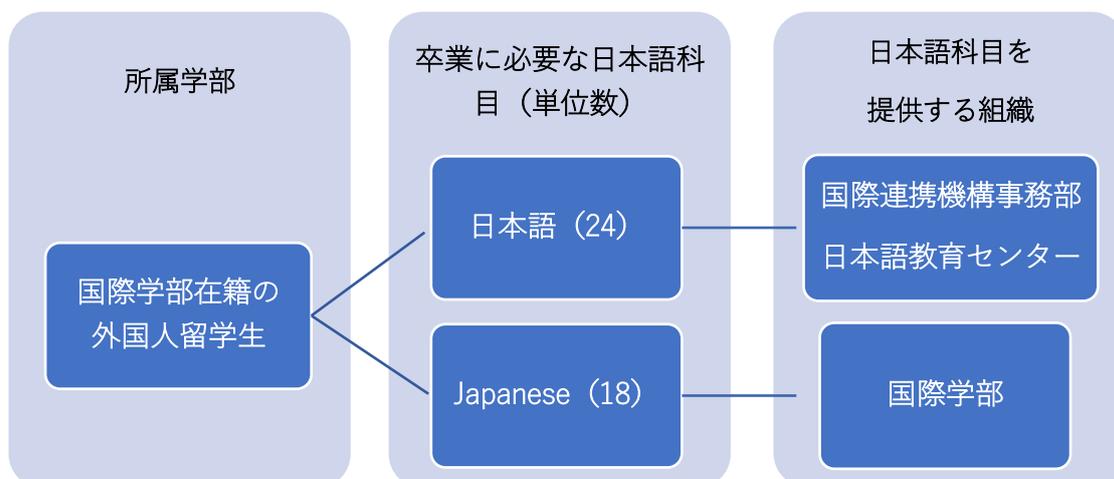
関西学院大学国際学部は2010年4月に「国際性の涵養(かんよう：徐々に育てること)」を理念とし、設立された。理念達成のため、「国際事情に関する課題の理解と分析」を目的としている。学生が高い外国語能力を取得し、様々な観点から世界の諸事情を理解・分析できるよう、特に日本と密接な関係をもつ北米・アジア地域について、「文化・言語」「社会・ガバナンス」「経済・経営」の3つの学問領域からアプローチしていく。これらの学びを通じて、世界全体を見渡せる、柔軟で幅広い視野に立った「国際性」を身につけていく。(『国際学部 履修の手引き』より一部抜粋)

4. 国際学部在籍の留学生在が学べる日本語科目について

国際学部^{に在籍する}正規留学生は、「日本語話者留学生」と English-based Degree Program (英語で授業を行う科目の単位を一定数以上取得した上で学位を取得するプログラム) の「English-based International Student (英語話者留学生)」に分けられている。また、卒業に必要な「言語教育科目」の科目・単位数が異なる。

日本語話者留学生は、全学部の留学生在が履修する「日本語」(国際連携機構事務部・日本語教育センターによる提供科目)を、英語話者留学生は、国際学部が独自に提供する「Japanese」を履修する。なお本機関報告の文責者である安達・阪上は、国際学部の提供科目「Japanese」を担当する国際学所属の日本語常勤講師である。日本語科目を提供する2つ組織が同じ建物内(G号館)にあるた

め、学内外において混同されやすい。



5. 国際学部の「英語話者留学生」について

2018年度国際学部の英語話者留学生の入学者数は10名である。1～2年生は、週に4コマ（1コマ90分）、3年生は春学期に2コマの授業を履修しなければならない。2018年度「Japanese」履修生の総数は22名である。クラスはJ-catの点数により、12段階のレベルに分けており、春学期（4～7月）・秋学期（9～1月）にそれぞれ6クラス開講している。日本に来たばかりで日本語が話せないレベルから、ネイティブレベルまで幅広いが、1クラス10名以下であるため、きめ細やかに指導している。卒業後は、半数が国内で就職をし、25%が進学している。

- ・国際学部 English-based Degree Program および English-based International Student に関する情報：https://global.kwansei.ac.jp/academics/academics_204269.html (English)
- ・日本語教育センターに関する情報：<https://www.kwansei.ac.jp/cjle/>